

2.1.1.2 大気質

五木村及び相良村においては、国及び県による大気質の調査は実施されていない。

最寄りの一般環境大気測定局としては、相良村と隣接する人吉市内に図 2.1.1.2-1 に示す人吉保健所測定局があり、窒素酸化物、硫黄酸化物及び浮遊粒子状物質の常時監視が実施されている。

大気質の状況は表 2.1.1.2-1 に示すとおりであり、平成 8、9 年度の測定結果において二酸化窒素、二酸化硫黄及び浮遊粒子状物質は、環境基本法(平成 5 年法律第 91 号)に基づく環境基準を下回っている(表 2.2.7.1-1)。

表 2.1.1.2-1 大気質の状況(二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質)

項目	二酸化窒素 (ppm)		二酸化硫黄 (ppm)		浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	
	年平均値	日平均値の 98% 値 ^{*1}	年平均値	日平均値の 2% 除外値 ^{*2}	年平均値	日平均値の 2% 除外値
測定年度						
平成 8 年度	0.007	0.016	0.004	0.009	0.019	0.042
平成 9 年度	0.008	0.017	0.003	0.006	0.018	0.043

備考:

①二酸化硫黄において日平均値が 0.04ppm を超えた日が 2 日以上連続した日はなかった。

②浮遊粒子状物質において日平均値が 0.10mg/m³ を超えた日が 2 日以上連続した日はなかった。

出典:「平成 9 年版 日本の大気汚染状況」(環境庁大気保全局大気規制課)

「平成 10 年版 日本の大気汚染状況」(環境庁大気常時監視研究会)

*1 1 年間の測定を通じて得られた 1 日平均値のうち、低い方から数えて 98%目(例えば、年間有効測定日が 350 日の場合には 343(=350×0.98)番目)にあたる値

*2 1 年間の測定を通じて得られた 1 日平均値のうち、高い方から数えて 2%の範囲にある測定値(例えば、年間有効測定日が 335 日の場合には 7(=335×0.02)個の測定値)を除外した後の最高値



図 2.1.1.2-1 一般環境大気測定局の位置